

製品安全データシート

整理番号：20080-01
作成：2003/1/20
改訂：2014/2/20

製品名： ボトキラー水和剤

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称： ボトキラー水和剤
会社名： 出光興産株式会社
住所： 東京都千代田区丸の内3-1-1
担当部門： アグリバイオ事業部 アグリ事業一課
電話番号： TEL：03-6895-1332 FAX：03-3284-0837

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性／刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分2A
	皮膚感作性	区分1B
	発がん性	区分1A

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

シンボル： 感嘆符 健康有害性
注意喚起語： 危険
危険有害性情報： アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ
 発がんの恐れ
注意書き： **【安全対策】**
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 粉じんの吸入を避けること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 【対応】
 皮膚に付着した場合は、大量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けること。
 汚染された衣類は脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 【廃棄】
 内容物、容器を法、条例に従って安全に処理する。または、
 都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に
 委託して適切に処理する。

製品安全データシート

整理番号：20080-01
作成：2003/1/20
改訂：2014/2/20

製品名： ボトキラー水和剤

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物
農薬の種類名： バチルス ズブチリス水和剤

有効成分

化学名（一般名）： バチルス ズブチリス芽胞 1×10^{11} cfu/g
成分および含有量： バチルス ズブチリス芽胞 10～15%
 <その他> 鋳物質微粉、界面活性剤等 85～90%

危険有害成分	PRTR法	安衛法 通知対象	毒劇法	CAS番号	含有量
シリカ	非該当	312(≥0.1%)	非該当	7631-86-9	60%以下

4. 応急措置

目に入った場合： 直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。
皮膚に付着した場合： 汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分
 を水またはぬるま湯で十分に洗い流し、石鹼を使って洗浄する。
吸入した場合： 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し、衣類をゆるめて深呼吸
 吸させる。多量に吸入した場合は医療措置を受ける。
飲み込んだ場合： 被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中
 に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛
 乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はも
 のを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤： 粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂（初期火災）
 泡消火剤、水噴霧（大規模火災）
消火方法： 火元への燃焼源を絶ち、適切な消化剤を使用して消火する。消火
 作業は可能な限り風上から行う。
 火災発生場所の周囲に関係者以外の立入りを禁止する。
 燃焼または高温により有害ガス（一酸化炭素等）が発生すること
 があるので、呼吸用保護具を着用する。
 容器周辺が火災のときは、容器を安全な場所に移動する。移動が
 できない時は、容器に注水または周囲に散水して冷却する。
 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しない
 よう適切な処置をする。
消火を行う者の保護： 消火作業は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。必ず適切
 な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

製品安全データシート

整理番号：20080-01
作成：2003/1/20
改訂：2014/2/20

製品名： ボトキラー水和剤

6. 漏出時の措置

- 作業者に対する注意：** 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具（暴露防止及び保護措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着しないようにする。
- 環境に対する注意：** 環境への影響は小さいが、流出した製品が河川等に排出されないように注意する。
- 流出物処理に対する注意：** 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取るなど粉じんが飛散しない方法で取り除く。残りは大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い上の注意：** 換気の良い場所で取扱う。屋内で取扱う場合は、できるだけ風上から作業する。取扱い場所近くに、緊急時に洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置する。着衣、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用して取扱う。休憩場所には手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔などをよく洗い、うがいをする。また、休憩場所には汚染された保護具を持ち込まない。
- 火災・爆発の防止：** 通常の保管方法で問題なし。
- 保管上の注意：** 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

8. 暴露防止措置

- 許容濃度：** 管理濃度： 未設定
日本産業衛生学会（2008年度版）： 未設定
ACGIH（2008年度版）： 未設定
- 設備対策：** 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用する。
取扱い場所近くに、緊急時に洗身シャワー、手洗い、洗眼を行うための設備を設ける。
- 保護具：** 呼吸用保護具：防塵マスク
保護手袋 ：ゴム手袋
保護眼鏡 ：側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型
保護衣 ：作業着、帽子、ゴム等の前掛け、長靴等

製品安全データシート

整理番号： 20080-01
作成： 2003/1/20
改訂： 2014/2/20

製品名： ボトキラー水和剤

9. 物理的及び化学的性質

外観： 類白色水和性粉末 100 μ m以下
臭い： データなし
pH： データなし
引火点： データなし
発火点： データなし
燃焼または爆発範囲： データなし
密度・比重： データなし
溶解度： データなし
その他データ： データなし

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の貯蔵、取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性： データなし
避けるべき条件： データなし
混触危険物質： データなし
危険有害な分解生成物： データなし

11. 有害性情報

急性毒性： データなし
眼刺激性： データなし
皮膚感作性： モルモット：感作性あり
有効成分の急性毒性：
ラット： 経口単回 ♂♀ 10⁸ cfu/g で感染性、病原性、毒性および生残性は認められない。
ウサギ： 経皮単回 ♂♀ 10¹⁰ cfu/g で毒性および刺激性は認められない。
ラット： 経気道単回 ♂♀ 10⁸ cfu/g で感染性、病原性、毒性および生残性は認められない。
ラット： 静脈内単回 ♂♀ 10⁷ cfu/g で病原性および毒性は認められない。
有効成分の眼刺激性： ウサギ：刺激性なし
発がん性： 発がんの恐れ（シリカ：NITEの分類による）
生殖毒性： データなし
その他データ： データなし

製品安全データシート

整理番号： 20080-01
作成： 2003/1/20
改訂： 2014/2/20

製品名： ボトキラー水和剤

1 2. 環境影響情報

生態毒性： コイ： NOEC 2.0×10^8 cfu/ml (30日)
オオミジンコ： NOEC 2.0×10^5 cfu/ml (21日)
藻類： データなし

残留性/分解性： 対象外
生体蓄積性： 対象外
土壌中の移動性： 対象外
その他： 通常の使用方法では問題は無い。

1 3. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分に。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連分類： 非該当
国連番号： -
品名（国連輸送名）： -
容器等級： 非該当
海洋汚染物質： 非該当

国内規制

輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

輸送の特定の安全対策及び条件：

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に。車両、船舶には保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

製品安全データシート

整理番号： 20080-01
作成： 2003/1/20
改訂： 2014/2/20

製品名： ボトキラー水和剤

15. 適用法令

農薬取締法： 登録番号 第20080号
消防法： 非該当
労働安全衛生法： 通知対象物： シリカ（政令番号312）
化学物質排出把握管理促進法： 非該当
毒物劇物取締法： 非該当

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献： 1) JIS Z 7252：2009 GHSに基づく化学物質等の分類方法
2) GHS対応ガイドライン 製品安全性データシートの作成指針
（改訂2版）平成20年10月 社団法人 日本化学工業会
3) 農薬中毒の症状と治療法 第13版 平成22年4月 農薬工業会